

第一内科・腫瘍内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ゲフィチニブ治療における皮膚障害の出現とその治療に関する調査

[研究機関] 北海道大学病院 薬剤部

[研究責任者] 笠師 久美子（薬剤部・副薬剤部長）

[研究の目的]

ゲフィチニブ(イレッサ錠)は投与により皮膚障害が高い確率で出現する可能性があることから早期に対処が必要な薬剤です。この研究ではイレッサ錠による皮膚症状に対する北海道大学病院の治療の傾向を分析し、今後の円滑なイレッサ治療の遂行の一助とすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

非小細胞肺がんの患者さんで、平成16年1月1日から平成21年10月31日の間にイレッサ錠による治療を受けた方。（ただし、平成22年3月31日までに期間を延長する場合があります）

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査所見（血液検査）、入院中所見（皮膚状態、摂食状態、排便状態、治療スケジュール、入院日数など）、処方内容、処置内容、該当疾患の治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院薬剤部 担当 齋藤 佳敬
電話 011-706-7722 FAX 011-706-7616